

4. 京都市大西末義氏撮影写真調査

本田 龍平

1. 概要

京都市大西末義氏撮影写真は、京都市左京区幡枝町在住の大西末義氏の所蔵する写真資料群である。2023年11月、中村治特任教授と筆者が写真とフィルムの調査をおこない、その後、12月に本田が資料を借用し、整理作業をおこなっている。

調査日程 2023年11月4日

調査参加者 中村治（特任教授）、本田龍平（3回生）

2. 内容

大西末義氏撮影写真は、昭和30年代（1955-1964）から平成年間（1989-2019）にかけて京都市左京区岩倉幡枝町在住の大西末義氏が所蔵する紙焼き写真およびフィルムである。写真資料には、家族写真や旅行の様子を撮影した写真の他、大西氏が消防署の業務で撮影した風景写真等が含まれる。今回の調査では、大西氏が所蔵する写真のうち岩倉幡枝町やその近隣地域の風景・風俗が写されたものを抽出して整理する。岩倉幡枝町の地藏盆の写真（写真1）の他、岩倉盆地を撮影したパノラマ写真（写真2）等がある。これらの写真には今では失われた風景や風俗が克明に記録されている。撮影時期や撮影場所の特定により、洛北地域の歴史的景観の復元が可能になるだろう。現状では、箱の中に撮影時期の異なる写真資料が混在しているが、アルバムやフィルム資料はまとまった形で保存されている。今後は、写真とフィルムのスキャン後、フィルムの配列情報や大西氏の証言などを踏まえ、写真・フィルムの目録作成をおこなう予定である。



写真1 昭和30年代の幡枝地域の地藏盆



写真2 昭和42年12月20日に比叡見ヶ丘から撮影された岩倉盆地南部のパノラマ写真

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
